

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

初回にふさわしい着物

初夏とひとくちに言いますが何月の事を差すでしょう。具体的に言いますとゴールデンウィークの始まる前後から6月の終わりまで…と覚えて下さい。初夏は一年中でも緑の最も美しい季節で気持ちのよい頃でもあります。青葉若葉がそよぎ花も多く咲き揃い人も活動的に動ける季節です。

7月と8月は盛夏で、着物ががらっと変わるので分かりやすいのですが、6月までの初夏はお天気も目まぐるしくかわり気温の変化も10度位の差があったり、汗ばむような夏日もあれば肌寒かったり風や雨に見舞われることがあるので着る物に困ってしまいます。着物の種類も最も多い季節です。そして催し物も多くお出掛けが増えてきますので天気をみながら着る物を選ぶようにして下さい。

これからの和とくポイント

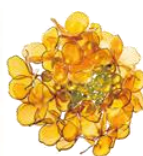
初夏に着る着物の種類

最も悩むのが、袷を着る5月に暑苦しい天候で袷では爽やかにならない事です。真冬に着ていた重苦しい感じの生地や、散った桜柄の着物・冬模様や・新春の柄などは着たくなくなります。このような時には季節感のない織り物や、季節の柄ではない小紋などを活用されてみてはいかがでしょうか。

また反対に花柄だけではなく、爽やかな5月らしい色合いの着物や帯で装うのも素敵です。数ある袷の中にはそんな季節に合いそうな着物や帯も持つように心掛けておきましょう。6月に入ったら単衣と薄物が混ざり合ってしまう月です。蒸し暑く気温も高い日には思い切って薄物の着物を着られても良いでしょう。

この時は生地は紹縮緬、紹、夏向きの絹芭蕉のような紬などで、まったく目のあらい紗や紋紗はやはり7月まで待ちましょう。紹には縦紹や紋紹、段紹など色々な織り方がありますが紋紗ほど透けてはいませんから6月の暑苦しい日にはお召しになられても良いです。紹縮緬なども6月にふさわしい生地で雰囲気があって素敵です。

このように初夏に着る着物の材質はかなりの種類がありますので難しいかも知れませんが、着物好きな方には腕の見せ所でもある時季です、お洒落が楽しめる季節だと思って、お天気や出掛ける場所に合わせて苦になさらず楽しんで下さい。



今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

5月の催事・イベント

◎さくら特別展示会…5月17.18.19日

◎ポーセラーツ教室…16日(木)

「真っ白な器を好きなように彩り、オリジナル作品を作る♪」

シール感覚で転写紙を切り貼りして絵柄をつけるので、絵に自身のない方でも安心(^-)/

誰もが楽しめるハンドメイドとして人気上昇中!



※各詳細のお問い合わせはお店まで

◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

さくらきもの学院

◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>

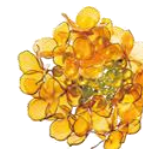
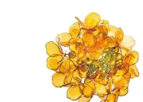
◎Blog: <http://sakura-rarara.sblo.jp/>

※レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン: 初等科6回

・1dayレッスン: 500円/回

※詳細はさくらきもの学院事務局まで



By: お藤

